

関市にて市民を対象とした「人権講話」を実施しました



日 時 令和4年10月23日(日)

10:00~12:00

場 所 わかくさ・プラザ

対 象 関市民25名

講 師 医療法人和光会

常務理事 藤原富子 氏

「老いは誰にもやってくる

～もしも自分が認知症になったら…
今から知っておくべきこと～

- ・ 認知症の現状
(症状や人口割合、コロナによる影響など)
- ・ 認知症の対応方法
- ・ 普段からの対策
- ・ 認知症の方の人権

参加者の感想

- ・ 自分に身に迫る内容で、身につまされました。夫、息子たちと一緒に聞きたい話でした。
- ・ 認知症の人だからといって差別せず、その人の気持ちに寄り添って、自尊心を傷つけず、できることはやってもらう、そんなことがよく分かり、良い講演だった。

コーディネート事業を利用して

- ・ 市民講座の「いきいき・生き合い講座」を通して、市民の方々の人権意識を高め、よりよく生き合える人間関係づくり・心豊かなまちづくりに努めることを目的に行った。
- ・ 受講者の満足度は高く、家族や友人に話したい、という人も多いことがわかった。
- ・ 受講者の中で、自身の活動団体でも話を聞きたいという申し出があったため、今後、人権に関する意識を地域に広めていく活動につなげたい。